

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0865  
 住 所 川崎市川崎区千鳥町10番1号  
 氏 名 日本合成樹脂株式会社  
 代表取締役社長 下村 啓 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本合成樹脂株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区千鳥町10番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	18	プラスチック製品製造業(別掲を除く)
主たる事業 の内容	石油樹脂製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,610	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	日本合成樹脂株式会社 製造グループ
		所在地	川崎市川崎区千鳥町10番1号
		電話番号	044-288-5031
		FAX番号	044-299-0290
		メールアドレス	

※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	平成28年度 ~ 平成30年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

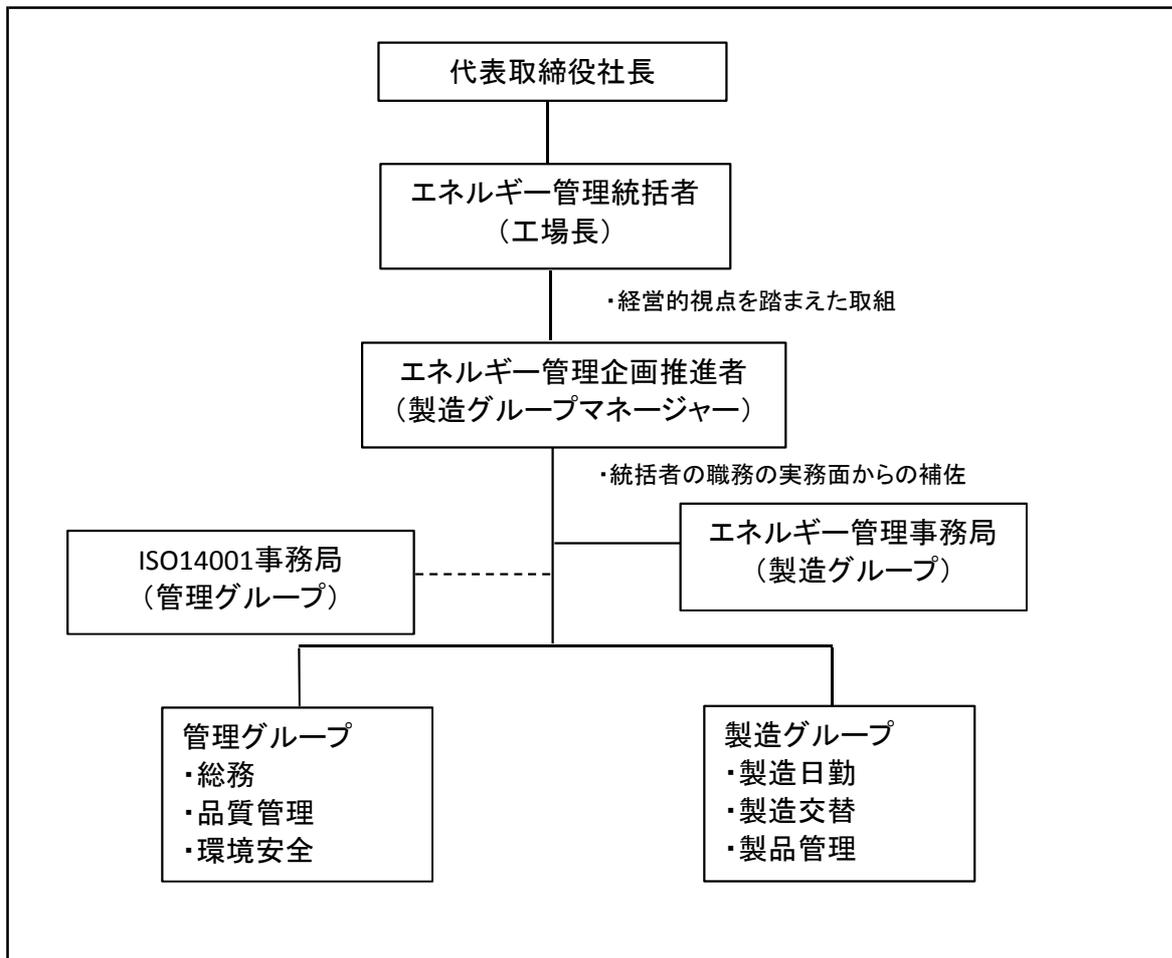
### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

次の【環境方針】により、私たちは、地球環境との調和を目指します。

#### 【環境方針】

- ◆環境法規制、条例等の遵守
- ◆地球温暖化防止の推進と環境負荷の低減
- ◆周辺地域との協調・共生
- ◆環境マネジメントシステムの継続的改善

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成27年度	目標年度	平成30年度
基準排出量	(実) 4,808 (調) 4,808 t-CO <sub>2</sub>	目標排出量	(実) 5,434 (調) 5,434 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) -13.0 (調) -13.0 %	削減量	(実) -626 (調) -626 t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	生産数量	単 位	kl/t
基準年度の値	0.2264	目標年度の値	0.2197
削減率	3.0 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

中長期販売計画をもとに策定した平成30年度の生産量は、基準年度である平成27年度より 17% 増加する。このままでは温室効果ガス排出量も増加するため、エネルギー原単位を毎年 1%削減する方策を講じることとして温室効果ガス削減目標を設定した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 2 系列の熱交換器 (プレヒーター) 汚れ係数データの解析及び保全計画 (プレヒーター清掃頻度) の見直し</li> <li>(2) 平成 31 年冷凍機更新計画 (省エネタイプ) 及び冷凍機の成績係数 (COP) からの保全計画 (凝縮器清掃頻度) の検討</li> <li>(3) 平成 29 年一部設備の MCC 盤 (モーターコントロールセンター) 及びポンプ更新に伴う適正稼働台数の調整の検討</li> <li>(4) プラント照明設備の LED 化 (計画更新)</li> <li>(5) 熱媒配管及びプロセス配管保温材不具合箇所計画補修</li> <li>(6) 装置稼働に応じた加熱炉負荷に合わせた、適正な切替式バーナータイプの増設見直し検討</li> </ul>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

再生可能エネルギー源等の利用は実施していない。  
 加熱炉の排熱回収、蒸気温水の利用等の検討項目はあるが、敷地、設備投資等の問題から見送りとなっている。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

- (1) 毎月実績検討会によるエネルギー原単位の検証確認の実施 (平成22年度)
- (2) 熱量負荷に応じたメインバーナー交換運転及び燃焼燃料にあった空気比管理標準の設定 (平成22年度)
- (3) 加熱炉回りの断熱材更新 (平成22年度)
- (4) 加熱炉本体の放熱防止塗装実施 (平成23年度)
- (5) 熱媒配管保温不良個所の補修実施 (平成24年度)
- (6) スチームトラップ点検(1回/年)実施及び仕組み化 (平成22年度)
- (7) エアコンフィルター定期清掃(1回/月)及び温度管理仕組み化 (平成22年、23年度)
- (8) 変電所更新(高効率変圧器への更新) (平成22年度、23年度、24年度)
- (9) 減圧ポンプ更新 省電力タイプ (22kwh⇒3.7kwh) (平成22年度)
- (10) 主要設備等の管理標準の見直し・改善 (平成23年度)
- (11) 変電所更新に伴いMCC盤更新し単相負荷の管理実施 (平成24年度)
- (12) 放熱防止のための運休時のスチームトレース停止の継続管理の確立 (平成27年)

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- (1) 一般廃棄物の削減  
紙管理記録類の電子化によりコピー用紙使用量の削減を図る。
- (2) 不合格品発生量原単位の削減
  - ① 銘柄切替時の端切品の削減
  - ② 工程内端切品発生量の削減
  - ③ 最終製品における不合格品発生量の削減
- (3) 森林保全活動への参加  
ENEOSみらいの森活動への参加

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	4,808	t-CO <sub>2</sub>
(調)	4,808	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日本合成樹脂株式会社	川崎市川崎区千鳥町10番1号	1635	プラスチック製品製造業	4,808 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--